

症例の概要

No.	患者		1日投与量 投与期間	副反応
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置
1	女 10代	インフルエンザ の予防 (なし)	0.5mL 1回	<p>視神経炎 既往歴：アレルギー性鼻炎，アトピー性皮膚炎，気管支喘息 副作用歴：眼痛（前年のインフルエンザHAワクチン接種後）</p> <p>接種日 A医院にて本剤を接種。 接種2日後 左優位両眼球後部痛，視力低下が発現しB医院を受診。CT，MRI検査の結果，異常なし。 接種5日後 C病院を紹介受診後，D病院へ転院。精査により視神経萎縮を認め，両眼性視神経炎と診断。 視力は右0.1（手動弁），左光覚弁。うっ血乳頭を認めた。麻痺，発作は認めず。髄液細胞数 16/3μL，MBP<40pg/mL，オリゴクローナルバンド陰性，血清抗AQP4抗体陰性，インフルエンザ抗体A/H1N1 40倍，A/H3N2 20倍，B 10倍。頭部MRI検査にて両側視神経T2高信号を認めたが，大脳，脊髄病変は認めず。 ステロイド抵抗性を示し，ほぼ全盲に至った。 接種7ヶ月後 回復したが後遺症（全盲）あり。</p>
併用薬：なし				

症例の概要

No.	患者		1日投与量 投与期間	副反応	
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
2	男 10代	インフルエンザ の予防 (不明)	0.3mL 1日間	視神経炎	<p>接種当日 接種前体温36.2℃ 本剤接種。 鼻閉あり。内服薬（クラブラン酸カリウム・アモキシシリン水和物，セラペプターゼ，エバスタチン）を処方。</p> <p>接種2日後 眼球運動時の眼痛が出現。夕方から38.0℃前後の発熱出現。</p> <p>接種4日後 インフルエンザ（-），内服薬（アジスロマイシン水和物，カルボシステイン，アズレンスルホン酸ナトリウム水和物・L-グルタミン，クレマスチンフマル酸塩，アセトアミノフェン）を処方。 解熱したが，午後から排尿困難，大腿部痛があり，足に力が入らず段差で倒れてしまう状態であった。</p> <p>接種5日後 内服薬を中止。</p> <p>接種8日後 排尿障害はなくなっていた。両眼の視力低下を自覚し始めた。</p> <p>接種11日後 視力低下が進行し，CT施行されたが異常所見なし。歩行は完全にできるようになった。</p> <p>接種12日後 午後から光しか判別できなくなった。</p> <p>接種17日後 両側視神経乳頭の軽度発赤と腫脹，視力低下を認め，視神経炎と診断された。</p> <p>接種18日後 視力低下が進行し入院。頭部造影MRI，脊髄造影MRIで異常所見なし。髄液検査異常なし。髄液オリゴクローナルバンドIgG（-），ミエリン塩基性蛋白<40，抗アクアポリン抗体（-）。 視力右0.01，左0.01。ステロイドパルス1クール（メチルプレドニゾロン1,000mg，30mg/kg/day，3日間）施行。</p> <p>接種24日後 視力右0.09，左0.4。中心視野の欠損あり。フリッカーの回復に乏しい。</p> <p>接種25日後 ステロイドパルス2クール目（メチルプレドニゾロン1,000mg，30mg/kg/day，3日間）。</p> <p>接種31日後 視力右0.6，左0.6。中心視野耳側1/2のみの欠損。フリッカーは回復傾向。後療法としてプレドニゾロン1mg/kg/day内服にし，減量していった。</p> <p>接種38日後 視力右1.0，左1.2，中心視野欠損消失。</p> <p>接種46日後 軽快退院。</p> <p>接種60日後 視神経炎は回復。</p>
併用薬：なし					